

アゼルニジピン錠 8 mg 「TCK」

アゼルニジピン錠 16 mg 「TCK」

【この薬は？】

販売名	アゼルニジピン錠 8mg 「TCK」 AZELNIDIPINE Tablets 8mg 「TCK」	アゼルニジピン錠 16mg 「TCK」 AZELNIDIPINE Tablets 16mg 「TCK」
一般名	アゼルニジピン Azelnidipine	
含有量 (1 錠中)	アゼルニジピン 8mg	アゼルニジピン 16mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「[医薬品に関する情報](https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html)」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、カルシウム拮抗剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、末梢の血管を拡げて血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・過去にアゼルニジピン錠「TCK」に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール、H I Vプロテアーゼ阻害剤

（リトナビル含有製剤、アタザナビル硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、ダルナビル含有製剤）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、またはエンシトレルビル フマル酸を使用している人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [イトラコナゾール（イトリゾール）、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）（フロリード、オラビ）、フルコナゾール（ジフルカン）、ホスフルコナゾール（プロジフ）、ボリコナゾール（ブイフェンド）、ポサコナゾール（ノクサフィル）、H I Vプロテアーゼ阻害剤 {リトナビル含有製剤（ノービア、カレトラ）、アタザナビル硫酸塩（レイアタッツ）、ホスアンプレナビルカルシウム水和物（レクシヴァ）、ダルナビル含有製剤（プリジスタ、プレジコビックス、シムツーザ）}、コビススタット含有製剤（ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ）、ニルマトレルビル・リトナビル（パキロビッド）またはエンシトレルビル フマル酸（ゾコーバ）] や、併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	アゼルニジピン錠 8mg 「TCK」 アゼルニジピン錠 16mg 「TCK」		
	開始量	通常量	最大量
一回量	8 m g	8 ～ 1 6 m g	1 6 m g
飲む回数	1 日 1 回朝食後		

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【**この薬の使用中に気をつけなければならないことは？**】

- ・一時的に急激な血圧の低下（失神、意識消失など）をおこすおそれがあるので、そのような場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・血圧が下がることにより、めまいやふらつきがあらわれることがあるので、高所での作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・医師に相談しないでこの薬を減量したり、やめたりしないでください。病気が悪化することがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することができません。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・グレープフルーツジュースによって、この薬の作用が強くあらわれることがあるので、この薬を飲んでいる間は、グレープフルーツジュースを飲まないでください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
房室ブロック ぼうしつブロック	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
洞停止 どうていし	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
徐脈 じょみやく	めまい、立ちくらみ、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
頭部	めまい、気を失う、立ちくらみ
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気
胸部	息切れ
腹部	食欲不振
手・足	脈が遅くなる、脈がとぶ
皮膚	皮膚が黄色くなる
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	アゼルニジピン錠 8mg 「TCK」	アゼルニジピン錠 16mg 「TCK」
形状	素錠（割線入） 	素錠（割線入） 
直径	7.1 mm	9.1 mm
厚さ	3.3 mm	4.1 mm
重さ	140 mg	280 mg
色	淡黄白色	淡黄白色
識別コード	TU 244	TU 245

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アゼルニジピン錠 8mg 「TCK」	アゼルニジピン錠 16mg 「TCK」
有効成分	アゼルニジピン	
添加剤	結晶セルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸、ポリソルベート80、メグルミン、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：辰巳化学株式会社(<https://www.tatsumi-kagaku.com/>)

薬事学術・安全管理部：076-247-2132

受付時間：月～金曜日 9:00～17:00（祝祭日を除く）